

最近「フェアトレード」の製品を見かけることが増えていませんか！

そもそも「フェアトレード」とはなあに？

例えば、途上国と先進国・企業同士・雇用間の取引にアンフェアな状況があるからフェアな取引をして、お互いを支え合おうというのがフェアトレードのコンセプトです。

例えば私たちの身の回りの衣類や家具、カーペットや生活用品は、多くの国や人の手を通して日本に届いています。

でもその裏側には、十分に生活することができない賃金で働き、貧困に苦しむ途上国の生産者たちがいます。その中には、児童労働者として働き、教育を受ける機会を奪われている子どもが多くいます。

つまり、フェアトレードとは、生産者が人間らしく暮らし、より良い暮らしを目指すため、正当な労働や値段で作られたものを売り買いすることです。

フェアトレードの基準には、労働者に適正な賃金が支払われることや、労働環境の改善、自然環境への配慮、地域の社会・福祉への貢献などが含まれ、「子どもの権利の保護」および「児童労働の撤廃」も盛り込まれています。

(SRやSDGsの課題にもこんな言葉がありますね！)

では、フェアトレード製品をどのように見分けて購入すればいいのかという疑問が。世界的に共通な決まったマークがあればわかりやすいのですが、フェアトレードにはいくつかの種類があります。



「国際フェアトレード認証ラベル」

製品に対するフェアトレード認証で、第三者機関による定期監査が実施されている



「フェアトレード団体 (FTO) マーク」

団体に対するフェアトレード認定で、製品へのラベル掲載には別途認証取得が必要



「各企業や団体が独自に基準を設定」

日本に多く、生産者と直接取引していることが多い。
例：幸せを運ぶてんとう虫チョコ